

# 州立職業訓練専門学校（TAFE） 訪問

国際文化理容美容専門学校国分寺校 教務部部长 岡本 敦史

## 1 はじめに

私立学校教員海外研修団は、2024年9月6日、視察先である州立職業訓練専門学校（TAFE）を訪問した。TAFEは、地域社会や留学生向けの技術訓練に焦点を当てた政府の教育機関である。クイーンズランド州には約60校のキャンパスがある中で、今回私たちは、サウスバンク駅まで徒歩2分、ブリスベンシティまでも歩いていくことができる場所にありとてもアクセスの良い場所に所在する TAFE クイーンズランドを視察した。

## 2 学校（施設）概要

TAFE クイーンズランドは1882年に創立された、クイーンズランド州政府が運営する職業訓練学校である。2019年には Australian International Training Provider of the Year を受賞し、外国人留学生の技術修練や雇用の機会の幅を広げるための実績を評価された。現在、全キャンパス合わせて14万人を超える生徒が在籍しているが、国籍分布では、第1位はコロンビア、第2位はタイ、第3位はブラジルとなっている。日本は第9位とトップ10に入るほど多くの学生が学ぶ環境として活用している。入学条件としては、地域の生徒は Yaer10 までの成績があれば可能、留学生は英語力が問われる。同施設内に語学学校も設けられており、語学に不安がある生徒のケアも行われている。また、国際生徒が多い為、いくつもハイライトがある。例えば、幼児教育やケア、観光、ホスピタリティ、調理、看護、高齢者ケアなど様々なカテゴリーがある。卒業後すぐに活躍できる人材の育成を目標に、プログラムを修了する生徒の約84%が就職をするか、大学でさらに学びを続けていく。



外観

## 3 教育環境

モダンな雰囲気のある校舎は、街中にある一つの建物のように溶け込んでいる。いくつかの校舎に分かれているが、その間を一般車が通る道になっており、学生のみならず地域の人々も歩道のように通過していることもあり、とても多くの人々で賑わいを感じるような印象だった。

校舎内に入り説明を受けていく中で、在籍している講師の人数に驚いた。クイーンズランド州だけでも 5000 人もいるとの事、また、働きたい機関として賞も受賞している。現場での職業経験が豊富な人材がいるからこそ、卒業後すぐに即戦力につながる教育ができていることが伺えた。

#### 4 学びの特徴

より実践に近い学びをしている授業を見学させていただいた。特徴的なものをいくつか挙げる。

- (1) サイバーセキュリティ・レゴ&ロボテクス・ラボ：ここでは、レゴブロックで一つの街が作られており、交通、電気など全ての情報が管理できるようにプログラミングされており、それをサイバーアタック（攻撃）する方とガード（守る）に分かれてクラスでチームを組んで取り組みをしている。それぞれの職場において、IT セキュリティシステムで通用するよう指導していると説明を受けた。



レゴによる一つの街

- (2) ランチ：TAFE スタッフの皆様と学生が運営するカフェを利用した。学生が調理もサービスも提供していて、卒業後すぐに社会に出て通用ようにと考えられているプログラムである。学生が行っていることもあり、値段は周辺のレストランより安く設定されているとの事だったが、宣伝等は周辺の飲食関係者に迷惑がかかるとのことでしておらず、利用者は、学生か近隣の方が多い。サービスに関しては一般のレストランと遜色のない味とサービスで、素晴らしいと感じた。客とのトラブルに関しても、基本的には学生が対応するとのことで、より実践に近いことを学生のうちから行っていることで、即戦力になる人材育成を目指すという言葉の実際を肌で感じた。調理のほかにも、歯科や美容など様々なプログラムもあると説明を受けた。



学生カフェにて昼食

- (3) 同施設内にある語学学校の授業見学：海外からの留学生も多い中で、語学に不安がある学生へのサポートも手厚く行われていた。受付は、ELICOS（エリコス：一般の留学生）と AMEP（アダルトマイグレーションイングリッシュ）

プログラム：移民難民等新しく永住権をとった人)と分かれており、それぞれ個々の状況にも応じてくれるような入口だった。実際に授業の様子を拝見すると、2人でペアを組み、クイズ形式で互いに解答し合い、また、グループでコミュニケーションを取りながら解答を導き出すような風景も見られた。学生は、見る限り様々な国から集まっているようなメンバーで、表情からは学びに来たという意識が強く感じられた。

## 5 おわりに

TAFE は日本でいう多分野のいくつもの専門学校が集まったような学校で、学べる分野の多さ、校舎の広さ、通っている学生の数、教員の数などどれをとっても日本にはないスケールの大きさに圧倒された。一般道路を挟んでいくつかの校舎に分かれて、街並みに溶け込み、そんな環境で最先端の実践型即戦力対応授業を受講できている生徒はとても恵まれていると感じた。Year10までの学びの中や、成長する過程の中で将来の夢などが明確になっている学生にとってとても有効的な環境だと感じた。特に、生徒が実際のお客様にサービスを提供できる環境がある分野はより実践的な学びができています。我々が利用したカフェで、率先して水のサービスをしている店員（生徒）もいて、教室だけでは学ぶことのできない実践の学びにより本気に取り組んでいる姿勢に感銘を受けた。また留学生も多く、育ってきた背景が違う個々に対応できるシステムの整備、環境に ICT 教育の先進国であるという事も肌で感じる事ができた。今回の視察で得た知見をもとに、職業教育の質の向上に繋げていきたい。



学校概要について説明を受ける



集合写真

参考：<http://tafeqld.edu.au>